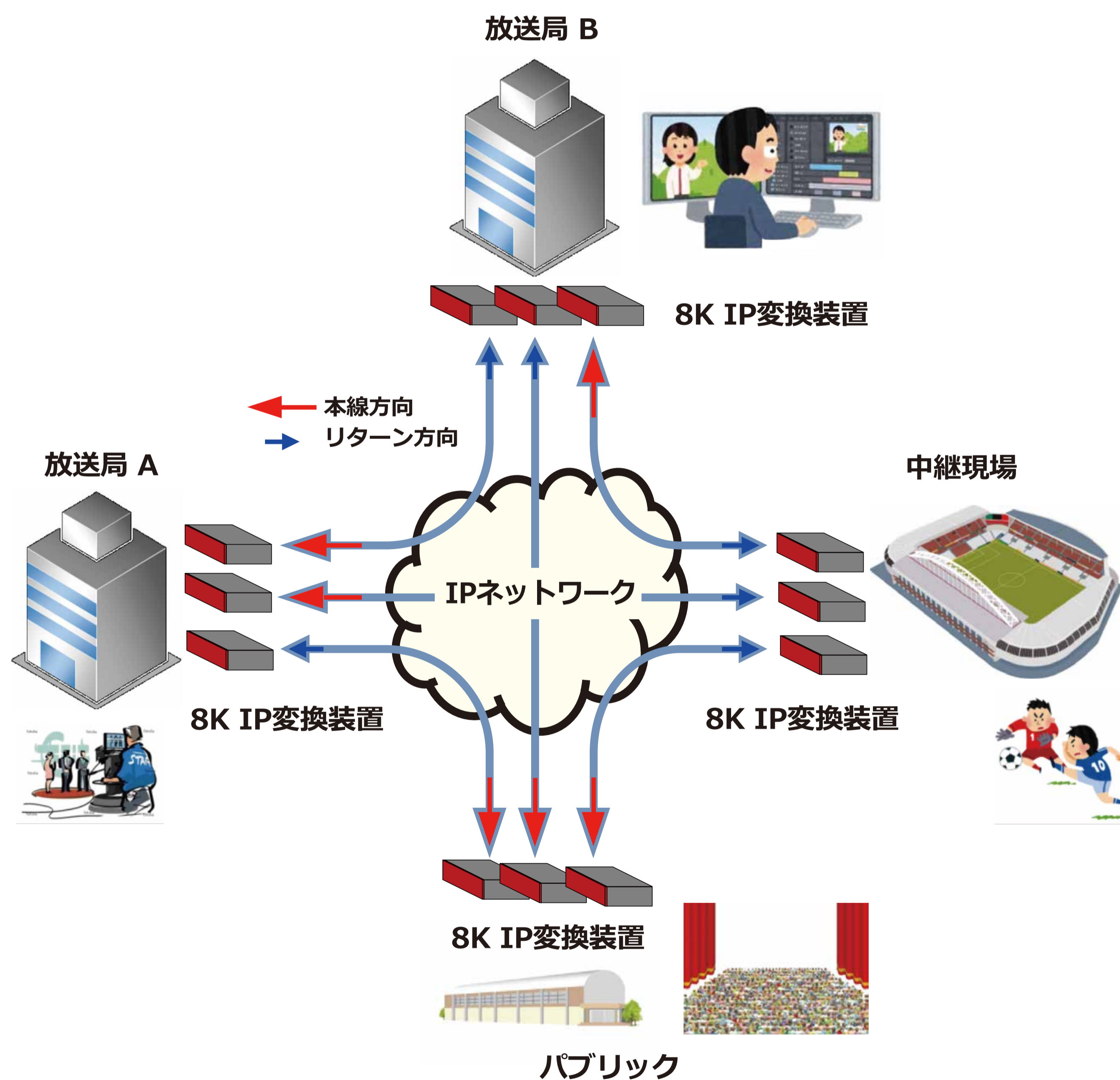


# IT-5110/IR-5111 : 運用例

日本放送協会様の協力のもと開発しました

IP ネットワークを利用した設備運用を実現する 8K IP 伝送装置 (IT-5110 および IR-5111) の開発を行っています。  
8K 信号を IP ネットワークで伝送するための変換装置を利用する方式について紹介します。



## ◆本線 : IP 専用回線を利用して 8K 映像伝送

8K 映像信号を IP にパケタイズする事により、IP 専用回線を利用でき、遠隔地間の非圧縮 8K 映像の伝送が可能になります。

遠隔地の中継現場からパブリックビューイングの会場にライブで非圧縮 8K 映像の伝送ができるので、劣化の無い臨場感のある映像を遠隔地間で共有する事が出来ます。

## ◆リターン : 送り返しポートを使用した遠隔地装置間の同期及び、遠隔地装置の制御

IP 回線を使用する場合、伝送装置の間に別の装置 (イーサネットスイッチなど) を経由するなど伝送装置間で同期を取る事が問題になります。

本装置は PTP による機器の同期と、送り返し (リターン) ポートを実装しており、送信元に PTP マスターを設定し送信元の伝送装置は直接 PTP マスターに、送信先の伝送装置はリターンポート経由で PTP マスターにそれぞれアクセスできるので遠隔地同士での同期を同一の IP 回線で行う事が可能です。

また、リターンポートを使用して周辺機器の制御コマンド通信なども同一の IP 回線で行う事が可能です。

図 IP ネットワークを利用した 8K IP 伝送装置の運用イメージ